

## 東海国立大学機構（東山）プラットフォーム建設コンサルタント選定委員会 審査講評

東海国立大学機構（東山）プラットフォーム建設コンサルタント選定に際し、いずれも十分な実績のある13社からの参加表明をいただき、選定委員会として何よりもまず深く感謝いたします。

名古屋大学の豊田講堂に正対し、グリーンベルトに沿った重要な都市軸を形成する広場としての機能と、東海国立大学機構におけるこれからの教育・研究の新たな拠点としての機能を併せ持つ、極めて難度の高い計画であることから、それに相応しい構想力と、その実現を担う技術力に優れた設計者の選定が望まれました。

4月20日に開かれた選定委員会において、各応募者の実績やこの事業に対する適格性などを慎重に検討した結果、そのうちの5社を選定して技術提案書の作成を依頼しました。6月7日に5社のすべてから提出を受け、11日に名古屋大学においてプレゼンテーション並びにヒアリングを行いました。5社それぞれの質疑回答を含めて技術提案の内容を吟味し、全審査員があらかじめ定められた「参加表明書及び技術提案書の評価方法・基準」に従って個別に評価を行い、その結果を集計したものに基づいて各案の評価すべき点、懸念される点などについて各審査員の評価の視点を述べ、その後特定社を選考する議論を行いました。その結果、いずれの項目においても顕著に評点が高く、総合的に評価点も群を抜いていた株式会社小堀哲夫建築設計事務所を特定者とし、ついで評価の高かった株式会社伊東豊雄建築設計事務所を次順位者とするを、審査員の満場一致により決定しました。

株式会社小堀哲夫建築設計事務所の提案は豊田講堂と図書館を結ぶ軸線上に、地上部を「谷戸（やと）広場」と呼ばれる緩やかな凹面をなす芝生の広場として開放し、地下部に主要な機能を全て配置するもので、反り上がった凹面の両端側が並木通りに沿って一直線に続く低い軒下空間を生んでいます。同時にこの軒下から取り込まれる自然光や通風が、地下空間に明るさと開放感を与えている点が巧みな計画であり、より深い学びと人々の出会いの場として秀逸な提案となっています。施設には20箇所からの多角的なアクセスが可能であり、文字通り開かれた施設として活用される姿がイメージされ、また空間内部の構成も将来の改変に向けた柔軟性を有しています。総合的に非常に熱意に満ちた提案の姿勢にあふれ、新たなプラットフォームづくりを依頼するにふさわしいと考えました。

惜しくも次順位者となった株式会社伊東豊雄建築設計事務所の提案は、地上面に一切の構築物を出さず、すべてを地下化し、その中央を起伏があり幅員や高さの変化する有機的な「チューブ」が貫流するという非常にユニークで挑戦的なものでした。キャンパス内の

様々なネットワークを結び合わせるノードとしての空間を目指し、多様な機能がチューブ状の空間で出会う構想や、ひだ状の個人スペースなどが大変魅力的である一方で、すべてが地下化されることによる種々の制約に対する懸念も残されました。

残る3社の提案もそれぞれに魅力があり、SANAA・妹島和世建築設計事務所設計共同体の館内全体に漂う伸びやかな開放感、株式会社千葉学建築計画事務所の既存樹木群を「ポッド」に入れて土ごと残すアイデア、株式会社榎総合計画事務所の一様の緩やかな勾配を持つ「斜面広場」など、これらを含めた全5社が各社各様の力のこもった提案をいただいたことに改めて感謝いたします。

今後は特定された株式会社小堀哲夫建築設計事務所の方々が発注者側、並びに使用者側の関係者と十分にコミュニケーションを深めて、新たなプラットフォームづくりのパートナーとして、大いに力量を発揮してくださることを祈念いたします。

令和3年6月

東海国立大学機構（東山）プラットフォーム建設  
コンサルタント選定委員会 委員長 古谷 誠章